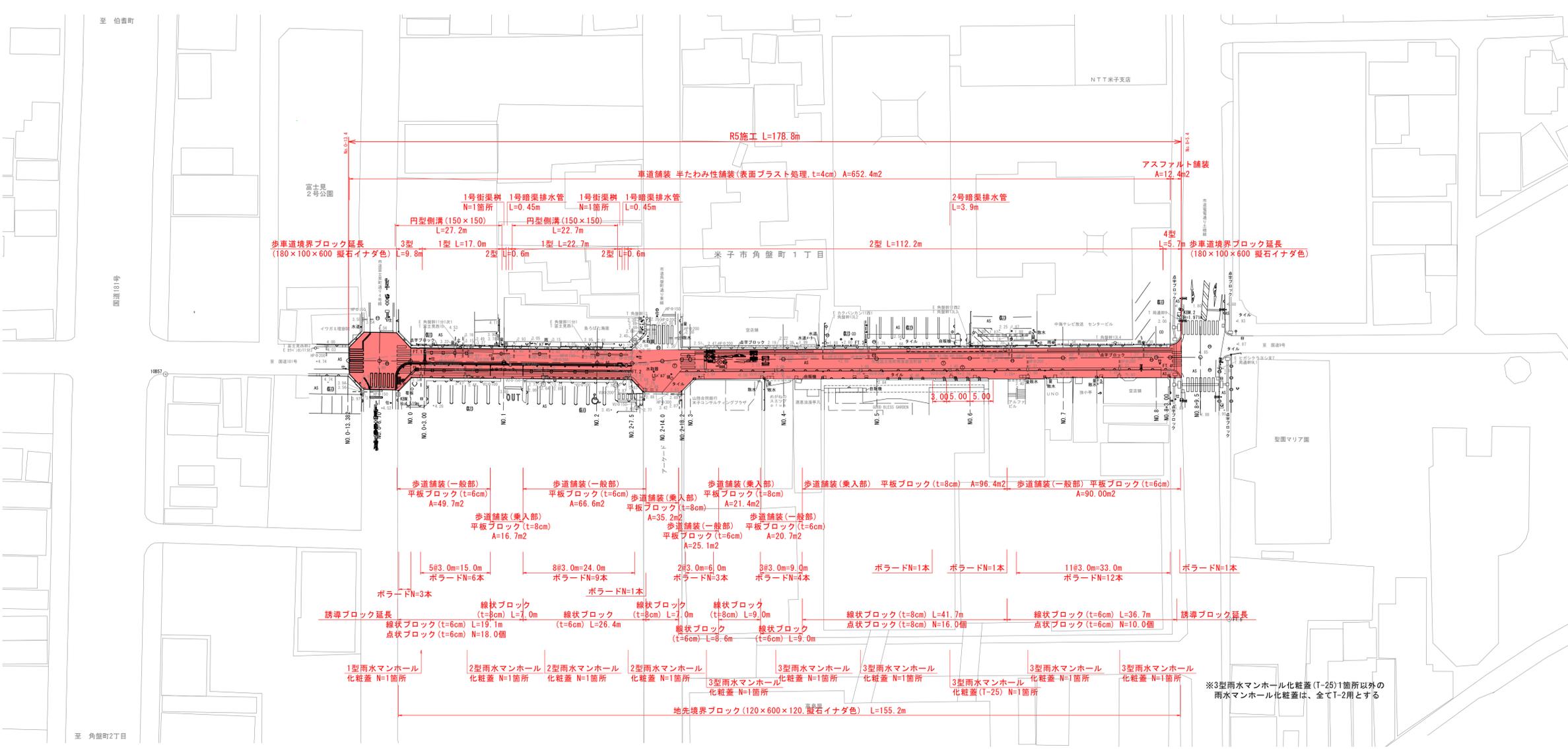


平面図 S=1:500



※3型雨水マンホール化粧蓋 (T-25) 1箇所以外の雨水マンホール化粧蓋は、全てT-2用とする

1	NO. 2+7.5
IA=	4-41-06
2	NO. 2+18.2
IA=	3-52-55

基準点	点名	X座標	Y座標	Z座標
FT. 1		-62570.991	-90696.375	4.265
FT. 2		-62598.735	-90730.384	3.318
FT. 3		-62638.897	-90762.117	2.497
FT. 4		-62681.756	-90811.640	1.834
FT. 5		-62653.407	-90858.403	2.120

R5 世界測地系	
図面番号	第7枚内1号
図面名称	市道富士見町南東倉吉町線 道路整備工事 (ウォークアブル推進事業) 平面図
縮尺	S=1:500 (A3 1:1000)
製図年月日	
写図年月日	
米子市都市整備部道路整備課	

# 縦断面図

V=1:100  
H=1:500



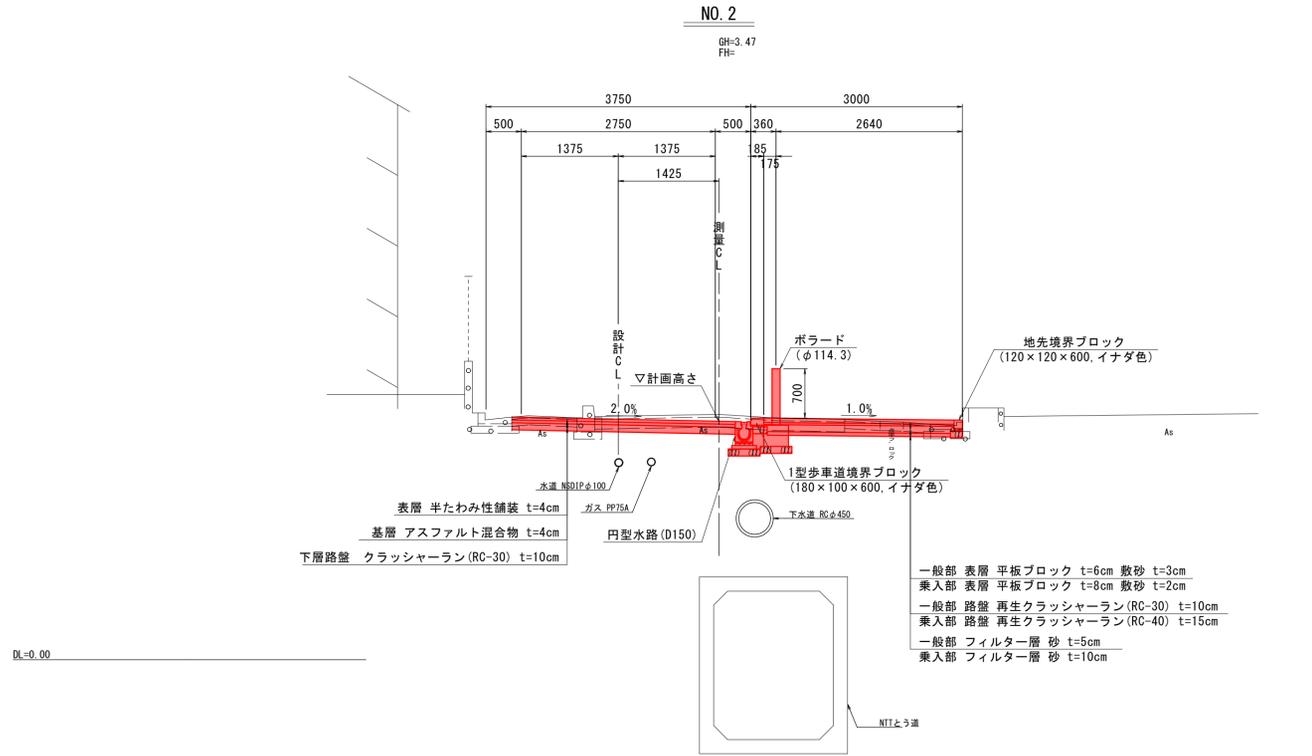
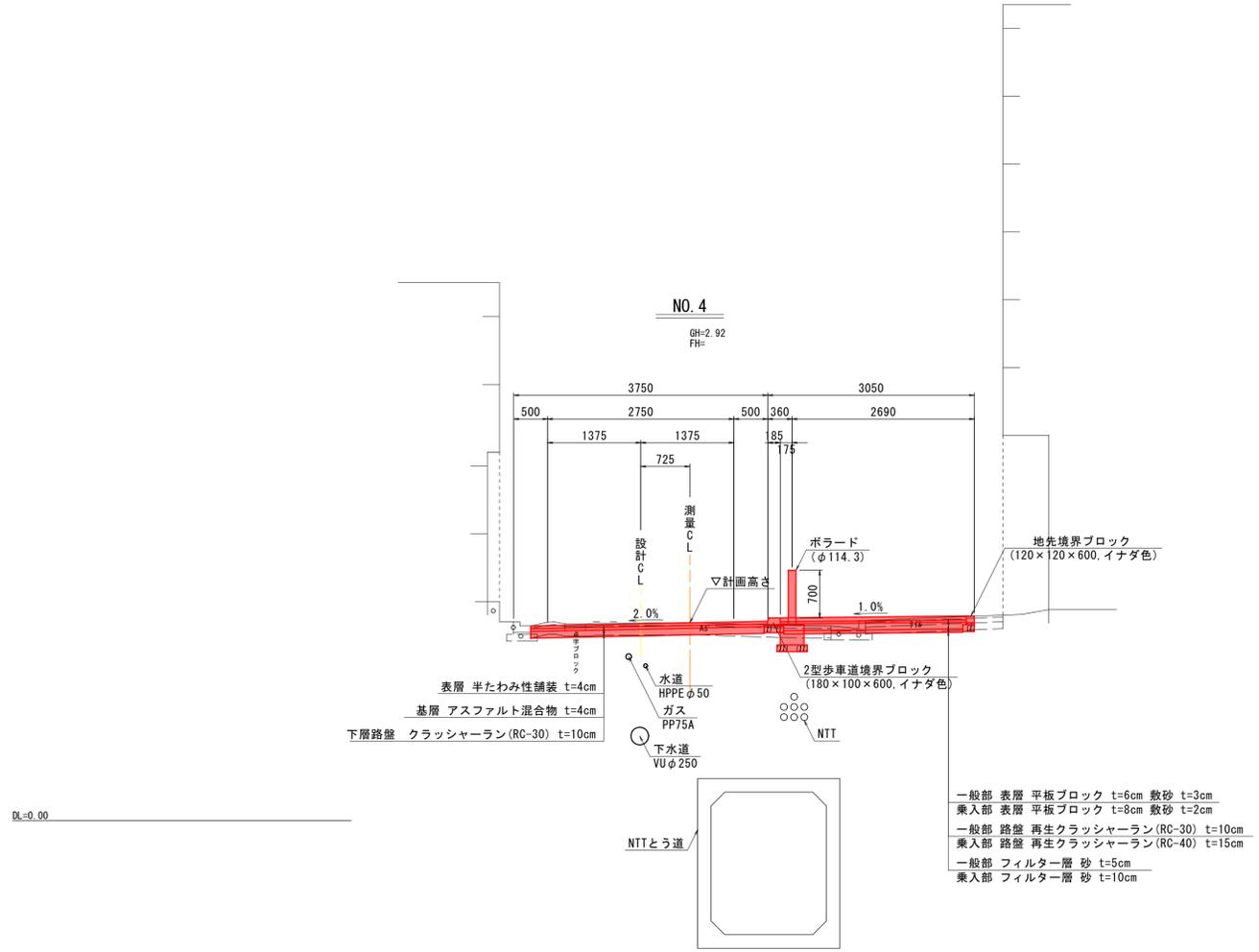
勾配	4.67 i=1.20% L=6.7m	4.59 i=4.93% L=6.7m	4.26 i=3.00% L=3.0m	4.17 i=2.29% L=17.0m	3.78 i=2.05% L=20.0m	3.37 i=1.85% L=6.5m	3.28 i=1.20% L=7.5m	3.40 i=2.85% L=4.2m	3.28 i=0.56% L=1.8m	3.29 i=1.85% L=20.0m	2.92 i=2.92% L=3.0m	2.52 i=2.00% L=20.0m	2.52 i=0.95% L=20.0m	2.33 i=1.40% L=20.0m	2.05 i=0.70% L=20.0m	1.91 i=3.00% L=3.0m	1.82 i=2.92% L=2.4m	1.89 i=2.92% L=2.4m	1.89
盛土																			
切土																			
計画高	4.67	4.59	4.26	4.17	3.78	3.37	3.28	3.40	3.28	3.29	2.92	2.52	2.52	2.33	2.05	1.91	1.82	1.89	1.89
地盤高	4.67	4.59	4.37	4.25	3.86	3.47	3.34	3.41	3.32	3.31	2.92	2.53	2.53	2.41	2.13	1.93	1.90	1.89	1.86
追加距離	-13.38	-6.70	0.00	3.00	20.00	40.00	47.50	54.00	58.20	60.00	80.00	100.00	100.00	120.00	140.00	160.00	163.40	165.40	169.50
単距離	-6.66	-6.70	0.00	3.00	17.00	20.00	7.50	6.50	4.20	1.80	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	3.00	2.40	4.10
測点	NO.0 13.382	NO.0-5.70	NO.0	NO.0+3.00	NO.1	NO.2	NO.2+7.5	NO.2+14.0	NO.2+18.2	NO.3	NO.4	NO.5	NO.6	NO.7	NO.8	NO.8+3.00	NO.8+5.40	NO.8+9.5	
曲線	<p>IP.1 IA-4-41-06</p> <p>IP.2 IA-3-52-55</p>																		
片勾りつけ																			

※計画高は測量線形における計画高さを示す。  
 ※地盤高は測量線形における地盤高さを示す。  
 ※追加距離は測量線形における区間追加距離を示す。  
 ※単距離は測量線形における区間距離を示す。

R 5

図面番号	第 7 枚内 2 号
図面名称	市道富士見町南東倉吉町線 道路整備工事 (ウォーカブル推進事業) 縦断面図
縮尺	V=100:H=500 (A3) V=200:H1000
製図年月日	
写図年月日	
米子市都市整備部道路整備課	

# 標準断面図 S=1:50

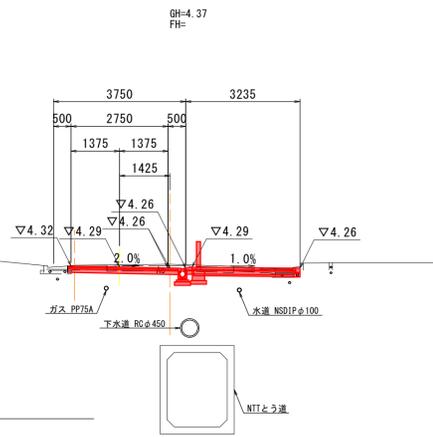


R 5

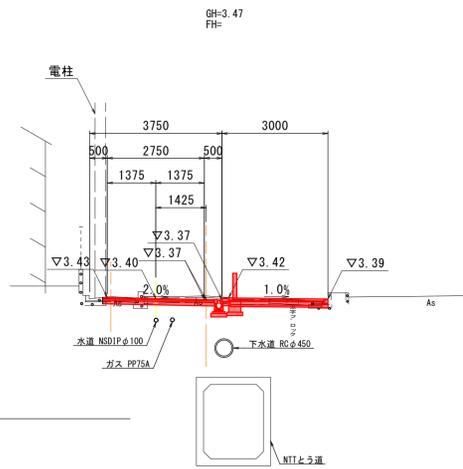
図面番号	第 7 枚内 3 号
図面名称	市道富士見町南東倉吉町線 道路整備工事 (ウオーカブル推進事業) 標準断面図
縮尺	S=1:50 (A3 1:100)
製図年月日	
写図年月日	
米子市都市整備部道路整備課	

# 横断図(1) S=1:100

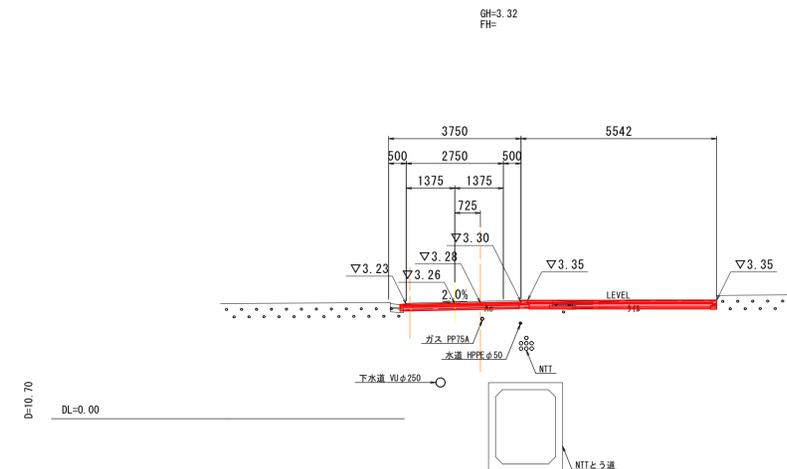
NO. 0



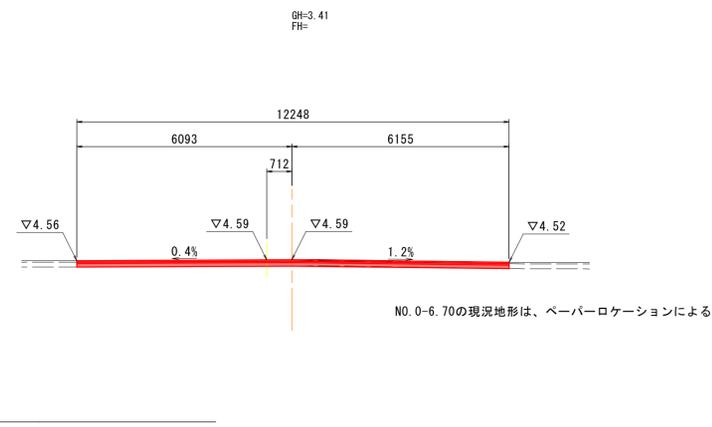
NO. 2



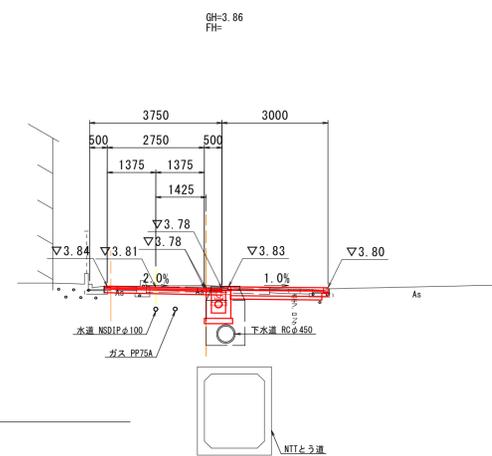
NO. 2+18.2



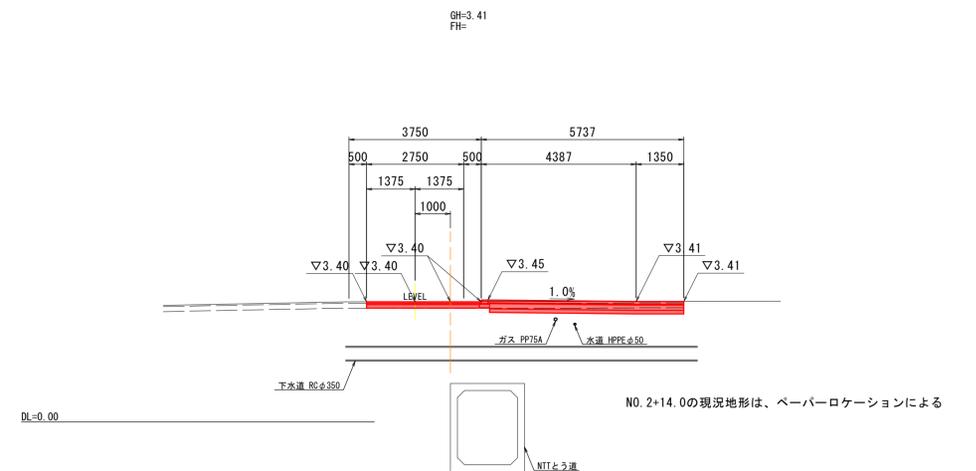
NO. 0-6.70



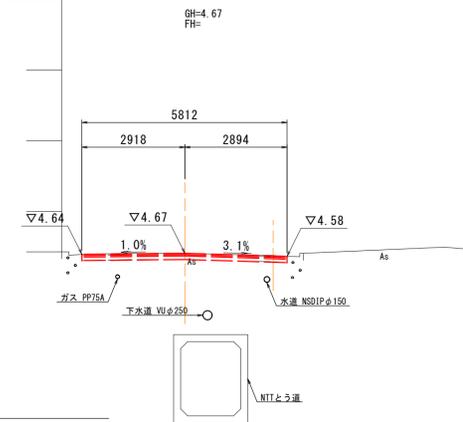
NO. 1



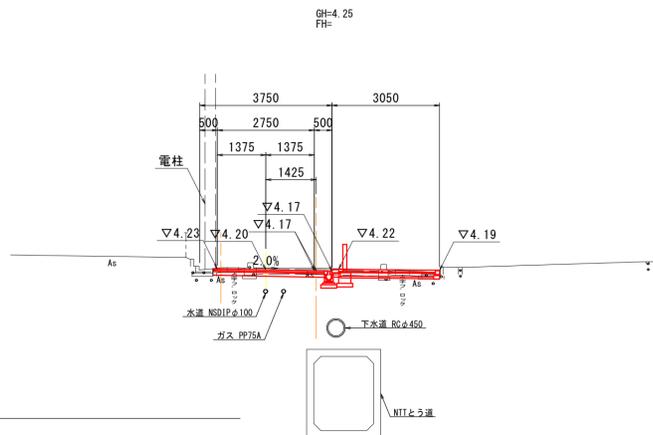
NO. 2+14.0



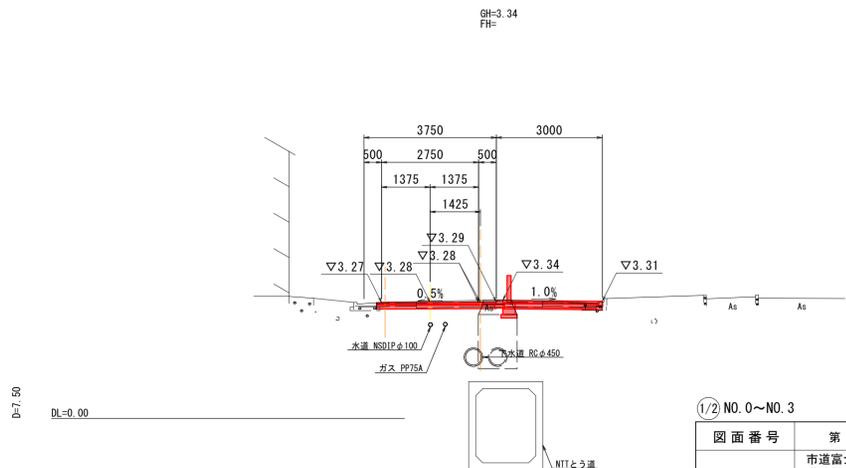
NO. 0-13.382



NO. 0+3.00



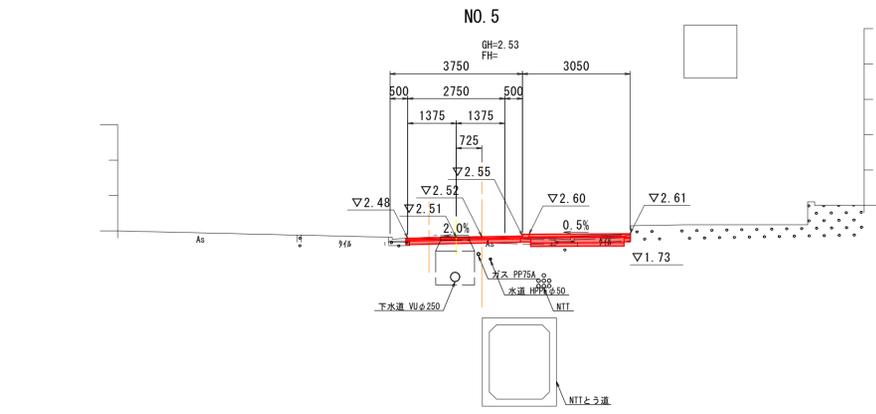
NO. 2+7.5



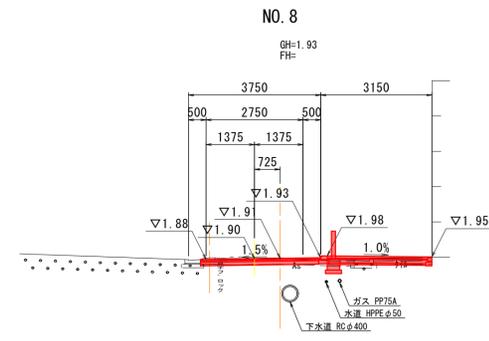
①/2 NO. 0~NO. 3 R5

図面番号	第 7 枚内 4 号
図面名称	市道富士見町南東倉吉町線 道路整備工事 (ウォークラブル推進事業) 横断図(1)
縮尺	1:100 (A3 1:200)
製図年月日	
写図年月日	
米子市都市整備部道路整備課	

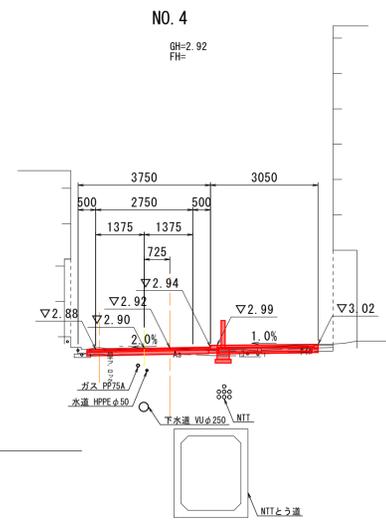
# 横断図(2) S=1:100



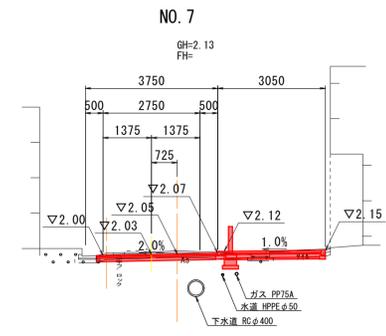
D=20.00  
DL=-5.00



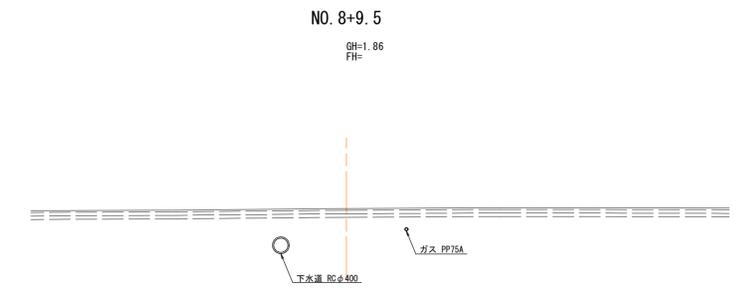
D=20.00  
DL=-5.00



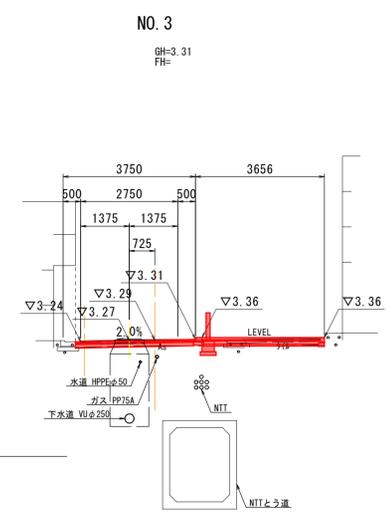
D=20.00  
DL=0.00



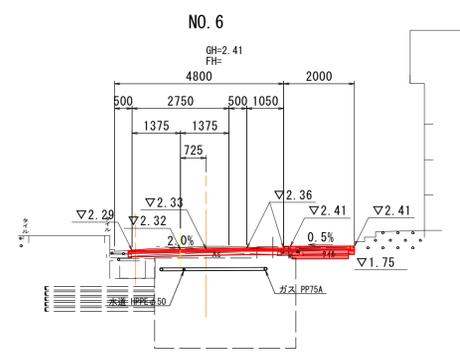
D=20.00  
DL=-5.00



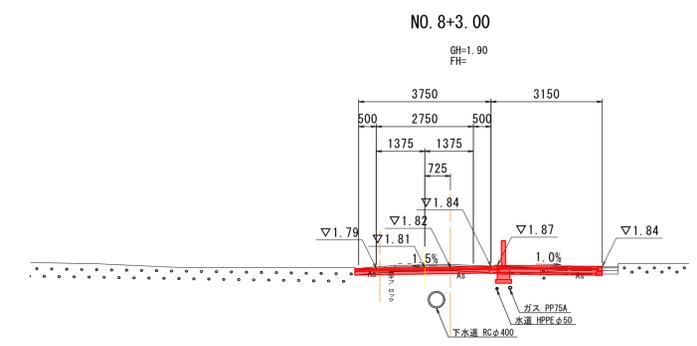
D=6.50  
DL=-5.00



D=1.80  
DL=0.00



D=20.00  
DL=-5.00



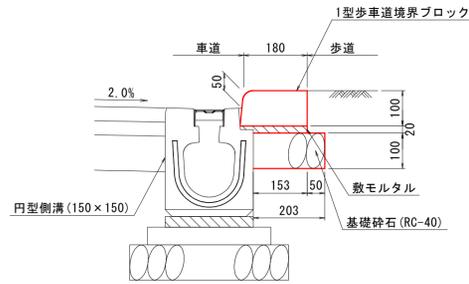
D=3.00  
DL=-5.00

②/2 NO. 4~NO. 8+9.5 R5

図面番号	第 7 枚内 5 号
図面名称	市道富士見町南東倉吉町線 道路整備工事 (ウォークラブル推進事業) 横断図(2)
縮尺	1:100 (A3 1:200)
製図年月日	
写図年月日	
米子市都市整備部道路整備課	

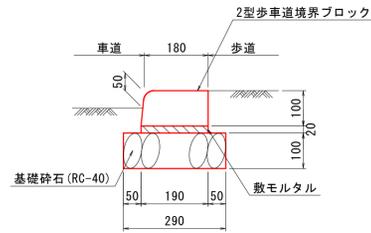
# 構造図(1)

1型歩車道境界ブロック S=1:10(A3 1:20)



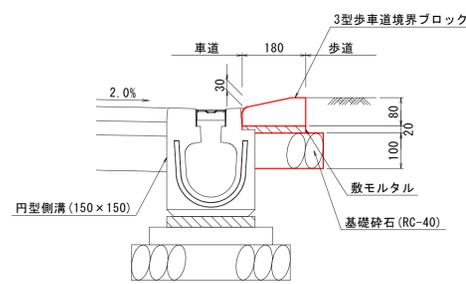
1型歩車道境界ブロック		10m当り数量表	
名称	規格	単位	数量
1型歩車道境界ブロック	擬石イナダ色 180×100×600	個	16.5
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.03
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	2.03

2型歩車道境界ブロック S=1:10(A3 1:20)



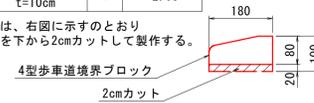
2型歩車道境界ブロック		10m当り数量表	
名称	規格	単位	数量
2型歩車道境界ブロック	擬石イナダ色 180×100×600	個	16.5
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.04
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	2.90

3型歩車道境界ブロック S=1:10(A3 1:20)

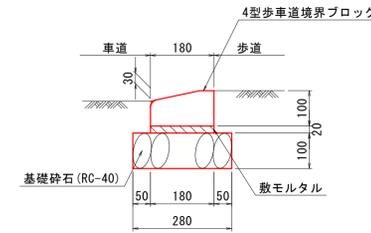


3型歩車道境界ブロック		10m当り数量表	
名称	規格	単位	数量
3型歩車道境界ブロック	擬石イナダ色 180×80×600	個	16.5
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.03
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	2.03

※3型歩車道境界ブロックは、右図に示すとおり4型歩車道境界ブロックを下から2cmカットして製作する。

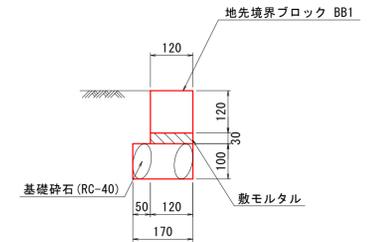


4型歩車道境界ブロック S=1:10(A3 1:20)



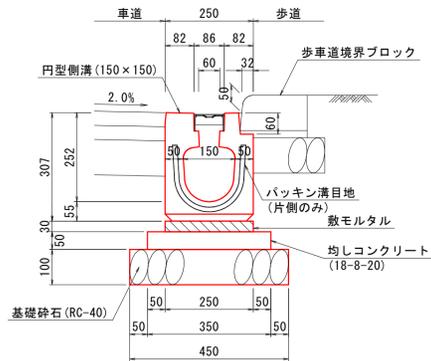
4型歩車道境界ブロック		10m当り数量表	
名称	規格	単位	数量
4型歩車道境界ブロック	擬石イナダ色 180×100×600	個	16.5
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.04
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	2.80

地先境界ブロック BB1 S=1:10(A3 1:20)



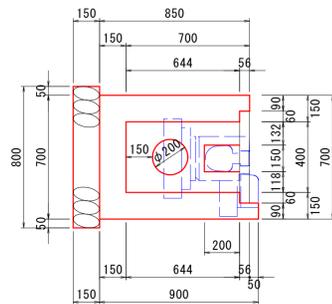
地先境界ブロック BB1		10m当り数量表	
名称	規格	単位	数量
地先境界ブロック	擬石イナダ色 120×120×600	個	16.5
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.04
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	1.70

円型側溝(150×150) S=1:10(A3 1:20)



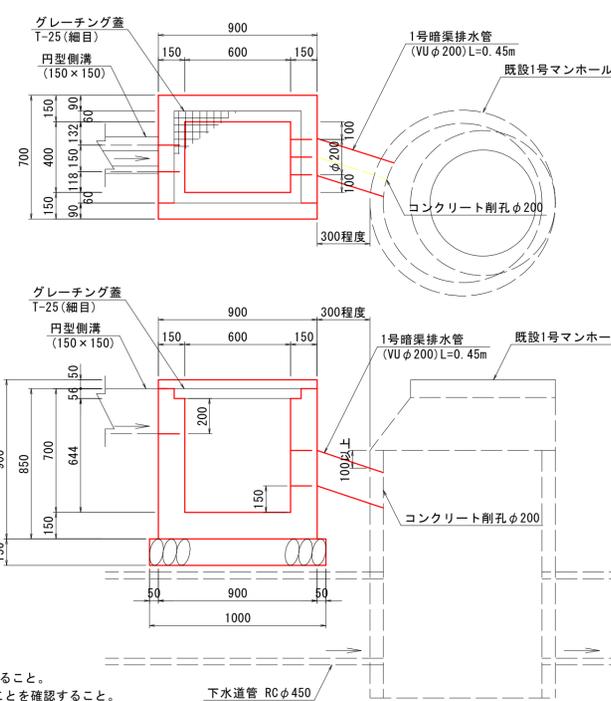
円型側溝(150×150)		10m当り数量表	
名称	規格	単位	数量
円型側溝	150×150 L=2000	個	5.0
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.08
均しコンクリート	18-8-20 t=5cm	m <sup>3</sup>	0.18
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	4.50

1号街渠柵 S=1:20(A3 1:40)

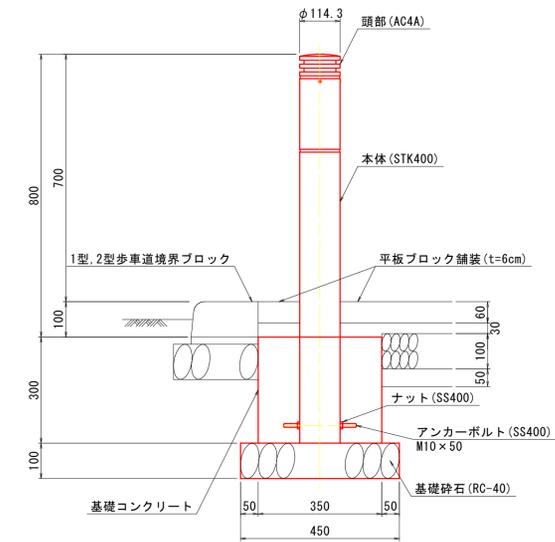


1号街渠柵(B400×L600×H700)		1箇所当り数量表	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.35
型枠		m <sup>2</sup>	4.62
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	0.80
グレーチング蓋	落とし込み T-25(細目)	枚	1.0
1号暗渠排水管	VU200	m	0.45
コンクリート削孔	φ200	箇所	1.0

※既設1号マンホール形状は推定である。施工時に形状確認し、監督員と協議の上、1号街渠柵を配置すること。  
 ※既設1号マンホール形状は推定である。施工時に形状確認し、コンクリート削孔はマンホール斜壁から離隔10cm以上を確保すること。  
 ※下水道管標高は推定である。施工時に1号街渠柵が影響しないことを確認すること。  
 下水道管に影響する場合は、監督員と協議の上、対応が必要である。



ポラード S=1:10(A3 1:20)

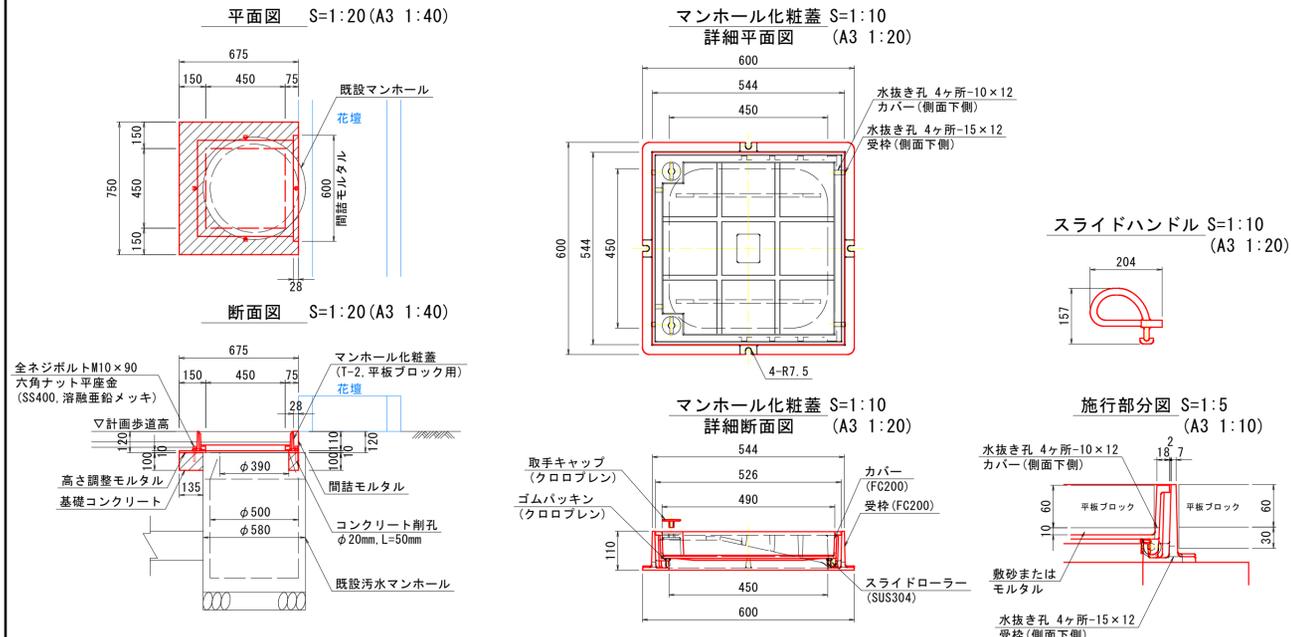


ポラード(φ114.3, h=0.8m)		1本当り数量表	
名称	規格	単位	数量
ポラード	φ114.3, h=0.8m 頭部含む	本	1.0
基礎コンクリート	350×350×300	個	1.0
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	0.20

※排水管の位置を確認の上、設置位置を調整すること。

## 構造図(2)

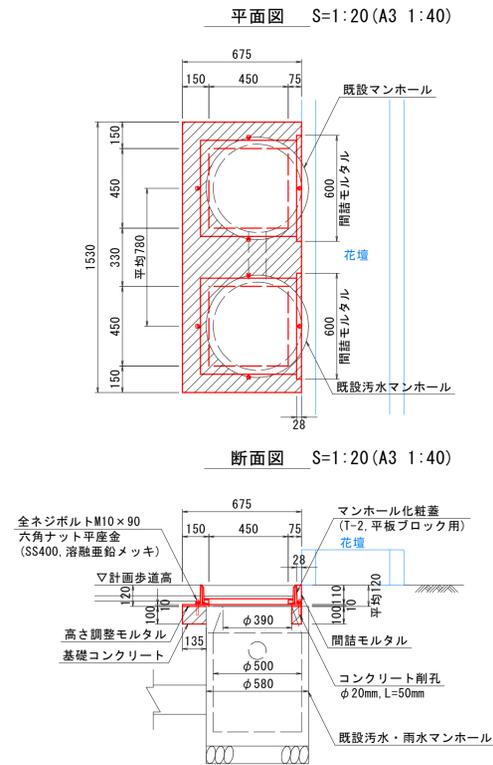
### 1型雨水マンホール化粧蓋



1型雨水マンホール化粧蓋		1箇所当り数量表	
名称	規格	単位	数量
マンホール化粧蓋	T-2 平板ブロック用	個	1.0
全ネジボルト	M10×平均260 (220~280)	本	4.0
六角ナット平座金	SS400 溶融亜鉛メッキ	個	4.0
高さ調整・間詰モルタル		m <sup>3</sup>	0.01
基礎コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.03
型枠		m <sup>2</sup>	0.24
コンクリート削孔	φ20mm, L=50mm	箇所	1.0

※高さ調整モルタルの高さh=10mmは、概ねの計測値である。  
高さ調整モルタルの高さは、施工時に現地に合わせて調整すること。  
※既設雨水マンホール形状は推定である。  
基礎コンクリート形状は、施工時に現地に合わせて調整すること。  
※既設雨水マンホールと花壇の位置は概ねの計測値である。  
コンクリート削孔位置は施工時に現地に合わせて調整すること。  
削孔位置が計画付近に施工できない場合は、監督員と協議の上、既設雨水マンホールとのズレ止め機能が可能な位置に変更するなどの対応が必要である。  
※既設雨水マンホールと花壇の位置は概ねの計測値である。  
花壇は取壊さない計画としているが、施工時に推定形状との違いから施工が困難と判断される場合は、監督員と協議の上、花壇の撤去・復旧などの対応が必要である。  
※米子市のマークを記載すること。

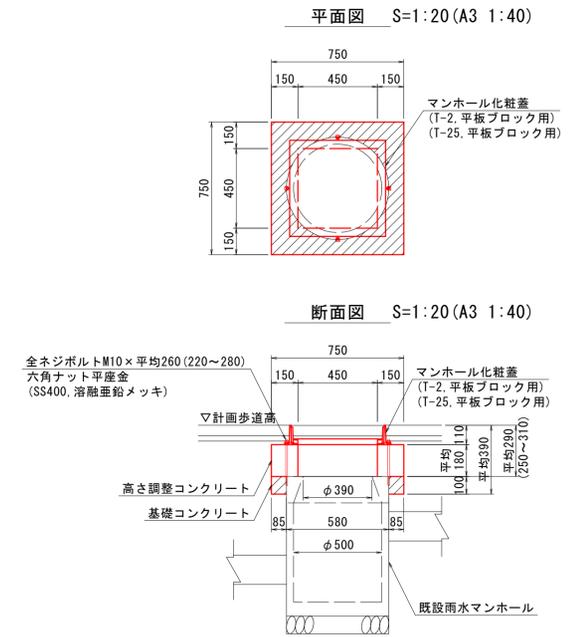
### 2型雨水マンホール化粧蓋



2型雨水マンホール化粧蓋		1箇所当り数量表	
名称	規格	単位	数量
マンホール化粧蓋	T-2 平板ブロック用	個	2.0
全ネジボルト	M10×平均260 (220~280)	本	8.0
六角ナット平座金	SS400 溶融亜鉛メッキ	個	8.0
高さ調整・間詰モルタル		m <sup>3</sup>	0.01
基礎コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.06
型枠		m <sup>2</sup>	0.34
コンクリート削孔	φ20mm, L=50mm	箇所	2.0

※マンホール化粧蓋は、左図に示すマンホール化粧蓋詳細図とする。  
※高さ調整モルタルの高さh=10mmは、全3箇所を平均値を推定している。  
高さ調整モルタルの高さは、施工時に現地に合わせて調整すること。  
※既設雨水マンホール形状や花壇位置は推定である。  
基礎コンクリート形状は、施工時に現地に合わせて調整すること。  
※既設雨水マンホール間隔や花壇位置は全3箇所を平均値を推定している。  
基礎コンクリート形状は、施工時に現地に合わせて調整すること。  
※既設雨水マンホールと花壇の位置は概ねの計測値である。  
コンクリート削孔位置は施工時に現地に合わせて調整すること。  
削孔位置が計画付近に施工できない場合は、監督員と協議の上、既設雨水マンホールとのズレ止め機能が可能な位置に変更するなどの対応が必要である。  
※既設雨水マンホールと花壇の位置は概ねの計測値である。  
花壇は取壊さない計画としているが、施工時に推定形状との違いから施工が困難と判断される場合は、監督員と協議の上、花壇の撤去・復旧などの対応が必要である。  
※米子市のマークを記載すること。

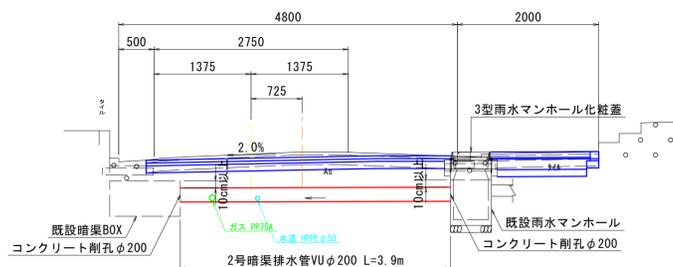
### 3型雨水マンホール化粧蓋



3型雨水マンホール化粧蓋		1箇所当り数量表	
名称	規格	単位	数量
マンホール化粧蓋	T-2, T-25 平板ブロック用	個	1.0
全ネジボルト	M10×平均260 (220~280)	本	4.0
六角ナット平座金	SS400 溶融亜鉛メッキ	個	4.0
高さ調整コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.06
基礎コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.03
型枠		m <sup>2</sup>	1.16

※マンホール化粧蓋は、左図に示すマンホール化粧蓋詳細図とする。  
※マンホール化粧蓋は、全6箇所のうち5箇所はT-2用、1箇所はT-25用とする。  
※高さ調整コンクリートの高さh=180mmは、全6箇所を平均値を推定している。  
高さ調整コンクリートの高さは、施工時に現地に合わせて調整すること。  
※既設雨水マンホール形状は推定である。  
基礎コンクリート形状は、施工時に現地に合わせて調整すること。  
※米子市のマークを記載すること。

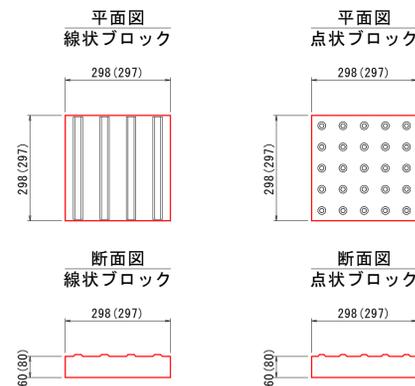
### 2号暗渠排水管 (VUφ200) S=1:50 (A3 1:100)



2号暗渠排水管 (VUφ200)		1箇所当り数量表	
名称	規格	単位	数量
2号暗渠排水管	VUφ200	m	3.9
コンクリート削孔	φ200	箇所	2.0

※既設雨水マンホール形状は推定である。施工時に形状確認し、コンクリート削孔はマンホール斜壁から離隔10cm以上を確保すること。  
※既設暗渠BOX形状は推定である。施工時に形状確認し、コンクリート削孔はBOX天端から離隔10cm以上を確保すること。  
※計画する暗渠排水管は、既設雨水マンホールから既設暗渠BOXへ流下するよう施工すること。流下方向が計画通り施工できない場合は、監督員と協議の上、対応が必要である。

### 誘導ブロック S=1:10 (A3 1:20)



誘導ブロック		1m2当り数量表	
名称	規格	単位	数量
線状ブロック	298×298×60 297×297×80	個	11.11
点状ブロック	298×298×60 297×297×80	個	11.11

※線状、点状ブロックの形状は、JIS規格に準拠した製品とする。  
※( )内数値は、t=80の寸法を示す。  
※線状、点状ブロックは、透水性製品とする。  
※色味は、イエローとする。

R5

図面番号	第 7 枚内 7 号
図面名称	市道富士見町南東倉吉町線 道路整備工事 (ウォークパブル推進事業) 構造図(2)
縮尺	図示
製図年月日	
写図年月日	
米子市都市整備部道路整備課	